

第2回札幌開発建設部特定工事総合評価審査委員会 議事概要  
 (幾春別川総合開発事業の内 新桂沢ダム堤体建設第1期工事)

|  |  |
|--|--|
| 開催日及び場所  | 平成28年6月23日(木) 15:00~17:00<br>札幌開発建設部 4階1号会議室   |
| 委員   | ○北海道大学大学院 公共政策学連携研究部<br>教授 泉 典洋<br><br>国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部<br>河川構造物管理研究官 佐々木 隆<br><br>北海道大学大学院 工学研究院 北方圏環境政策工学部門<br>准教授 佐藤 靖彦<br><br>元 北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員<br>山下 弘市<br><br>○委員長 (五十音順) |
| 議事次第<br><br>1 開会<br><br>2 札幌開発建設部長挨拶<br><br>3 委員長挨拶<br><br>4 議事<br>(1) 改善された技術提案の概要について<br>(2) 改善された技術提案の評価について<br>(3) 技術評価点について<br><br>5 その他<br>今後のスケジュールについて<br><br>6 閉会 |  |

## 審議概要

### 1 改善された技術提案の概要と評価について

競争参加者から提出された改善された技術提案に関し、提案内容の確認を行い、技術提案の妥当性や安全性等について審議した。

(主な論点)

- 基礎掘削について、提案規模と工程の妥当性
- リフトスケジュールの打設間隔の妥当性
- コンクリート打設設備の最大打設能力とコンクリート製造設備の妥当性
- 越冬対策について、課題に対する対策のリスク管理と安全性
- 新旧コンクリートの一体性について、温度応力解析の妥当性
- 原石山からの運搬路造成とコンクリート打設開始時期の実現性

### 2 技術評価点について

改善された技術提案に関して、項目ごとに評価基準に基づく評価を行い、各者の技術評価点について審議した。

(主な論点)

- 定性的な評価基準を有する評価項目に対する技術評価点の妥当性